

# かがやき

<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/>

病院広報誌

Vol.35

2019 冬号

年頭のご挨拶

検査部の紹介

皮膚科

皮膚科診療が刷新されました

ご自由にお持ちください  
**TAKE FREE**



病院長  
近藤 丘

# 年頭のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本院は東北医科薬科大学病院として早いもので4年目を迎えます。医師数は180名を超えるまでに増加し、昨年4月に形成外科と脳神経外科を開設して33診療科となり、より幅広い診療体制となり、一層安心度の高い地域医療を提供できる病院になったと思います。

また、建設中の新大学病院棟は1月末に竣工の予定で、病床数が466床から554床、手術室が7室から9室に増え、集中治療室、血管撮影室、放射線治療装置などが新設拡充されます。新大学病院棟への移転は3月に予定されており、4月から**新大学病院棟は新館、従来の病院棟は本館**と命名して運用していく予定です。

新館への移転後は4月以降に本館にできる空きスペースを改修し、救急センターの拡充と消化器内科外来・内視

鏡室の移設拡充を予定しています。さらに透析センターの拡充や救急病棟の新設を行います。

また、昨年営業を終了した本館2階のレストラン部分に産科分娩のための領域を整備し、現在の腎臓内分泌内科外来を本館4階の透析センター付近に移設後に産科外来を整備する予定になっています。

一方、新館5階に整備する産婦人科や乳腺・内分泌外科を中心とした女性病棟には新生児室も整備して本年から開始する産科医療に備える予定です。このように、本年は大型改修工事が次々と行われる予定ですが、大幅に増加している外来・入院患者数や検査件数に応じる診療スペースの確保のために食堂を廃止せざるを得ないなど利用者の皆様には多大なご不便をおかけしています。この先食堂の新設はしばらく難しいと思われませんが、改修により飲食や休憩のスペースの確保を考えていきたいと思っています。

本年は、新大学病院棟の完成と本館改修により高度な医療への対応力が格段に強化されて地域医療の質の向上に資する病院として一段とパワーアップいたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

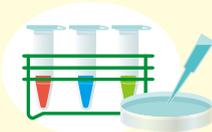


建設中 (撮影2018.12.14)



完成イメージ

## 検査部の紹介



Inspection section

検査部は、どの診療科を受診しても必要な、心電図、呼吸機能、超音波等の生理機能検査や、血液・尿検査、微生物等の検体検査をまとめて実施しています。

臨床検査技師(38名)が検査を実施するばかりでなく、採血室では検査部所属の検査技師(1名)、看護師(7名)が中心となり採血を行っています。さらに管理運営・アドバイスに関わる検査技師(1名)及び医師(専任1、兼任1、輸血部1名)と共に、多職種で力を合わせ、質の高い臨床検査を行うことを目指しています。また、様々な診療科からの検査に関する要望に応えるべく、日々努力しております。

昨年から、臨床検査室の国際基準規格である、ISO 15189(臨床検査室—品質と能力に関する特定要求事項)の認定取得に向けた準備を進めており、近々取得予定となっています。今後、ISO 15189に則り、継続的な業務改善に取り組んでいくと共に、より迅速で正確な検査報告に努めていきます。



臨床検査部  
高橋 伸一郎



# 皮膚科診療が刷新されました

平成30（2018）年10月から皮膚科は、教授の川上民裕 医師、講師の宮部千恵 医師の新体制が始まりました。

平成30（2018）年11月から皮膚科外来がフルオープンとなりました。すなわち月曜日から金曜日まで、毎日午前中（受付11：30まで）に診察しております。そして、これまでと異なり、近隣の先生方の紹介状を持参されない方も問題なく皮膚科診察を受けることができます。また、入院を希望される方は、お申し出ください。対応して参ります。

## 目に見える臓器、皮膚の病気に幅広く対応して参ります

アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、乾癬（かんせん）では、生物学的製剤など最先端の治療を駆使して皆様のお役に立ちたいと思います。生物学的製剤は治療費がかかる注射ですが、相談支援センターとの連携対応で皆様の身の丈に合った治療を提案して参ります。

皮膚は今、一番、注目されている臓器です。アトピー性皮膚炎は皮膚の最も外側にある角層が破綻するために起こることがわかってきました。生物学的製剤はデュピクセント®です。アトピー性皮膚炎が治っていないと食物アレルギーになってしまうことが最近の研究で明らかになりました。

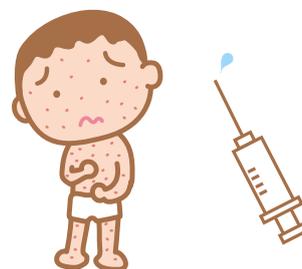


図1 蕁麻疹



図1の写真は蕁麻疹です。膨疹とも言われ、かゆみがひどいです。生物学的製剤はゾレア®です。

乾癬（かんせん）では、さまざまな生物学的製剤があります。通院しなくても自宅で注射できる薬もありますのでご希望をお聞かせください。

血管炎というなかなか治らない病気は、まず皮膚の症状が現れます。図2の写真はその皮膚です。こうした皮膚が現れた場合は、皮膚科を受診してください。川上医師は、日本皮膚科学会の血管炎委員会の委員長です。

図2 血管炎



他にも蜂窩織炎（蜂巣炎）、丹毒、とびひ（膿痂疹）、にきび（痤瘡）、水虫（白癬）、帯状疱疹、単純疱疹、皮膚癌、薬疹、天疱瘡、類天疱瘡、膠原病、ペーチェット病、脱毛症、白斑、血管腫（Sturge-Weber 症候群）など、受診された方々の改善にいかに関与できるかを常に念頭におき、皮膚科の診療を行って参ります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。





# INFORMATION



当院での企画や行事、最新情報をお伝えいたします！

## 軽食・昼食の際はローソン、 cafe CORE(カフェ・コア)をご利用ください

平成30(2018)年8月31日(金)15:00をもちまして、本館2階の食堂は閉店となりました。

利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、軽食・昼食の際はローソン、cafe CORE(カフェ・コア)をご利用ください。

### 本館1階 ローソン



#### <営業時間>

平日 7:00~22:00  
土・日・祝祭日 7:00~19:00

### 本館1階(多目的棟1階) cafe CORE(カフェ・コア)



※平日のみお弁当も販売しております

#### <営業時間>

平日 8:00~18:00  
土・日・祝祭日 9:00~17:00

## ボランティアを募集しています！

東北医科薬科大学病院ボランティア会「グリーンサークル」では、病院ボランティアを募集しています。

ボランティア活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

### 図書ボランティア(移動らいぶらりー)

曜日/毎週水曜日

時間/14:00~16:30

内容/患者さんへの本の貸出し、整理、寄贈本の受け入れ作業など

### 受付などの案内ボランティア

曜日/休診日を除く毎日

時間/8:30~11:30

内容/外来再診受付の補助

**ボランティア  
募集中**

ケータイ・スマホの方は  
こちらからもアクセス！

お問い合わせ

TEL: 022-259-1221(代表)

担当: 総務グループ



## 平成30年度をもちまして「健康講話」の開催を終了いたします

平成30年度をもちまして「健康講話」の開催を終了いたします。

今後は、市民公開講座(年3~4回開催予定)や、高砂市民センターと共催の特別講話(年数回開催予定)の開催形式をとり、地域の皆様を対象に健康にまつわる講話をお届けいたします。

「健康講話」は通算196回の開催となりました。これまでご参加された皆様に心より感謝申し上げます。

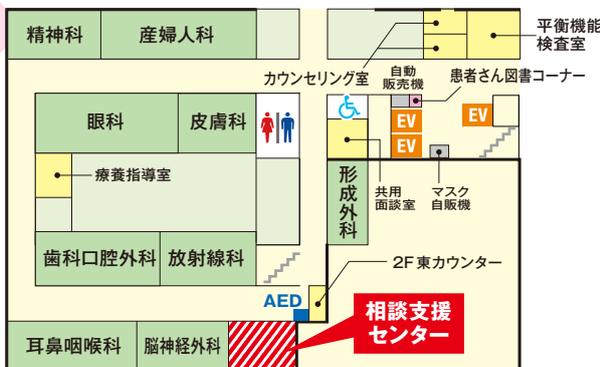
10年間  
ありがとうございました！



## 相談支援センター

当院では、医療費などの経済的なことや治療上的なことなど、病気に関わるご不安やお悩みを少しでも和らげられるよう、相談窓口を設置しております。どこに相談したらいいのかわからないとお困りの際には、お気軽に下記までご相談ください。

2階



◆日時: 月~金曜日(祝日、年末年始を除く)

9:00~16:30

◆TEL: 022-259-1221(代表)



ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！

## 健康講話のお知らせ

地域の皆様が明るく楽しく健康な生活がおくれますよう、「健康講話」を開催いたします。どなた様もお気軽にご参加ください。

- 開催日時: 下記の日程の水曜日 13:30~14:30
- 開催場所: 東北医科薬科大学病院(多目的棟2F大会議室)
- 参加料: 無料

### 【予定演題】

2月13日 ①血液の脂質改善、見直し隊で一す  
②未定(講師: 糖尿病代謝内科医師)

3月13日 ①隠れた腎臓・内分泌病から  
身を護る



ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！

特別  
講話

開催場所: 高砂市民センター

参加料: 無料

1月18日(金) 13:30~14:30

【予定演題】 認知症の早期診断と  
もの忘れ外来の受診方法

ケータイ・スマホの方は  
こちらからもアクセス！

